

## こたまコラム (矢作新報社への寄稿内容)

国政に於いては急な衆議院の解散によって総選挙となりました。

この記事が皆様のお手元に届く時は選挙戦終盤を迎えている頃と存じますので、現段階では戦況がどの様になっているか計り知る事は出来ませんが、今回の選挙に関する私の想いを申し述べたいと思います。

先ず政府与党に対してですが、安倍総理は今回の選挙の理由を、「国民との約束であった消費税増税分の用途変更を国民に問うため」と述べられましたが、これまで国民の意見を問うことなく重要法案を強行採決してきた事を鑑みれば、選挙を行う大義としては非常に希薄であると言わざるを得ません。

また、野党の中でも特に民進党に関して言えば、解散を機に分裂し、希望の党をはじめ3つに分かれての選挙戦となりましたが、新党結成を批判するつもりはありませんが、これまで民進党に期待して頂いた皆様への説明があまりにも少なすぎると言わざるを得ません。

どちらにしても、選挙戦も残り僅かでありますので、各候補者の主張に耳を傾け、この国を託せるのは誰なのか見極め、棄権する事なく貴重な一票を投じて頂く事を私からもお願い申し上げます。

また、国政混乱によって存在感が薄くなってしまいましたが、県議会9月定例会が10月13日までの会期で開かれ、皆様から要望が多かった愛知環状鉄道のICカード導入に向けた整備支援費を含む補正予算案など22議案を可決承認すると共に、閉会日には民進党愛知県議員団として政策提言書を大村知事に提出し、来年度への反映を求めました。

選挙結果によって政治状況が大きく変わる可能性もありますが、今後も皆様のご意見に耳を傾け、より良い地域作りに全力で取り組んで参ります。



愛知県議会議員

こたま よしかず

樹神 義和 